

事務事業名		ごみ収集・処理事業		☒ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間	
	施策名	06 廃棄物処理対策の推進		☐ 単年度のみ	
	基本事業名	01 ごみの適正処理とリサイクルの推進		☒ 単年度繰返 (開始 昭和45 年度～)	
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度	
所属	部課名	大船渡地区環境衛生組合		04 03 01 01 01 ※全体計画欄の総投入量を記入	
	課長名	千葉洋一(事務局長)			
	係名	総務係	電話 26-4739		
	担当者	曾根悦子	内線 434		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
管内で排出される家庭ごみ(可燃ごみと不燃ごみ)の処理を適正に行う事業。 主な業務は、直営及び委託により可燃ごみと不燃ごみの収集・分別・保管・処理を適正に行う。 また、施設や車輛の保守点検を定期的に行い、必要に応じて修繕するとともに、施設稼働による周辺環境への影響を調べるための測定業務を定期的に行う。 事業費は、可燃ごみおよび不燃ごみの収集委託費、中間処理費、広域運搬費等に支出である。				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称 単位
ごみの収集、分別、保管、処理。		ア 直営及び委託によるごみ収集量と一般持込量 トン
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ 大型パッカー車への積込中継量 トン
前年度と同じ		ウ ごみの資源化量 トン
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
管内(大船渡市・住田町)の住民等、及び家庭ごみ。		名称 単位
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		カ 管内の人口(大船渡市・住田町) 人
管内から発生するごみを適正に処理する		キ 家庭ごみ(可燃ごみと不燃ごみ)量 トン
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ク
発生したごみを適正に処理することにより、管内の環境保全に努める。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
		名称 単位
		サ 適正に処理されたごみ処理の割合 %
		シ 施設稼働の環境基準適合率(煙・音・臭い・水質) %
		ス 資源化率 %

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円				20,332		
		一般財源	千円	72,697	78,599	82,982	67,910	85,000	85,000
		事業費計(A)	千円	72,697	78,599	82,982	88,242	85,000	85,000
	人件費	正規職員従事人数	人	11	10	9	9	8	8
		延べ業務時間	時間	14,000	15,600	14,800	14,500	10,880	10,880
		人件費計(B)	千円	56,000	62,400	59,200	58,000	43,520	43,520
		トータルコスト(A)+(B)	千円	128,697	140,999	142,182	146,242	128,520	128,520
⑤活動指標	ア	トン		10,745	10,757	11,212	11,817	10,745	10,745
	イ	トン		10,239	9,789	10,028	10,756	10,745	10,745
	ウ	トン		698	836	889	859	698	698
⑥対象指標	カ	人		45,696	45,343	44,935	44,682	45,700	45,700
	キ	トン		10,076	9,941	10,696	10,851	10,076	10,076
	ク								
⑦成果指標	サ	%		100	100	100	100	100	100
	シ	%		100	100	100	100	100	100
	ス	%		6.16	7.46	7.80	7.39	6.60	7.46

事務事業ID	1083	事務事業名	ごみ収集・処理事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
管内から排出される家庭ごみ収集・運搬・処理を行うため、昭和45年に一部事務組合として大船渡地区環境衛生組合が設置された。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
対象者(大船渡市・住田町)は変わっていないが、社会情勢の変化に伴い、根拠法令(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)等の改正がある。平成12年度からは、焼却に係る業務については広域で処理することとなった(大船渡地区環境衛生組合と釜石市)。また、平成23年度から、岩手沿岸南部広域環境組合が稼働し、3市2町での広域処理となった。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
週1回の収集地域からは、収集回数を増やして欲しいとの要望がある(平成24年度より日頃市町の週1回地域を週2回に変更した)。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	ごみ収集・処理が適正に行われることは環境保全に結びつき、生活環境の向上につながる。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	自治体の責務として『法』に位置づけられている。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	管内の住民・事業所から排出される廃棄物が対象であり、限定されている。	
効率性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	可燃ごみと不燃ごみの分別が適正でなく、リサイクル資源も有効活用しきれていないうえ、一部に事業系ごみも混入している。また、直接持込者に対する対応に追われ、分別も難しい。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	住民生活に直接関わる事業であり、休止すれば住民サービスの低下を招き生活環境が悪化する。また、不適切な焼却処理や不法投棄など、不衛生で生活環境に悪影響を及ぼすような処理をされることが断念される。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	収集・処理事業は他の事務事業ではできない。また、類似事業もない。	
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	機械及び設備のメンテナンスを定期的、確実に行い、修理・修繕費を抑える。また、ごみを排出する住民にまして、ごみ排出の工夫をPRすることにより、ごみ量を減量できると思われる。(再利用・水切り・買い方など)	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	委託範囲の拡大	
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	本来、一般家庭ごみの処理施設でありながら、一部事業系ごみの処理にも対応しており、結果として、住民負担で処理されている。	

事務事業ID	1083	事務事業名	ごみ収集・処理事業
--------	------	-------	-----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・自治体の責務から目的妥当性はあるが、効率性・公平性の面からは、改革・改善の余地があると思われる。 ・事業費の削減や受益の偏りを改善するなど、効率的な収集業務が行えるよう地域事情に配慮した対応をとることで、自治体業務としてより高度な事業展開が望まれる。																			
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 新たに災害公営住宅の建設や高台移転の延長に伴い、収集ルートの再検討や、ステーションの配置など、効率的な収集を行うための対応をする。 設備の整備点検をこまめに行い、可能な限り修繕費の支出等を抑える。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上																																
	維持	●		×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 課題として⇒地域により収集回数に差があることの改善。小型家電、衣類など新たな分別収集への取り組み。事業系ごみの適切な処理指導。 解決策として⇒コース再編の検討や資源古紙回収との連携によって対応する。事業系ごみに関しては各事業所への啓発や指導の強化。																																	

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	事務局長	千葉洋一
-------	------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由 ・現状把握は概ね適切に行われているが、可燃ごみと不燃ごみの分別の向上を図り、ごみステーションに出される事業系ごみの減少を事業主等に働きかけることにより、より適正な事業を推進する。																						
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) ・家庭ごみの収集運搬業務については、H27～H29においても、事業経費の節減を考慮し、今までどおり、可燃ごみ(直営2台、委託5台)、不燃ごみ(全部委託)で実施することとした。 組合職員及び委託業者で情報共有を図りながら、ごみの分別、事業系ごみ混入等の課題に対し広報への掲載や現地での指導の強化により改善を図る。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 公平性改善)				
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																				
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 公平性改善)																								
(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×		
				コスト																				
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	●		×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
